

【活動報告】第1回ワークショップ開催



日頃より「熊谷未来デジタルワークショップ」の活動にご関心をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

■ 地域メディアをはじめとする多数の媒体で紹介されました

本プロジェクトの始動にあたり配信いたしましたプレスリリースが、地域メディアをはじめとする多くの媒体で紹介されました。街づくりの新しい形である「デジタル×学生」という取り組みに、多方面から大きな関心を寄せていただいております。

▼ 配信したプレスリリースはこちら（PR TIMES）

[\[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000007.000145829.html\]](https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000007.000145829.html)

地方創生やスマートシティ実現に向けた本プロジェクトの社会的意義を改めて実感するとともに、関心を寄せてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

■ 第1回ワークショップを開催

2026年1月17日(土)、記念すべき第1回ワークショップを開催いたしました。初回は少人数での実施となりましたが、対話を重視した密度の高いプログラムとなりました。

冒頭では熊谷市副市長より挨拶があり、本ワークショップの背景や、市が目指すスマートシティの方向性について共有されました。続いて、市担当者から熊谷市がこれまで取り組んできたスマートシティ施策について事例紹介が行われました。熊谷市に馴染みのない参加学生にとっても、地域課題とデジタル技術の結びつきを具体的に理解する貴重なインプットの機会となり、真剣に耳を傾ける様子が見られました。



その後はアイデア考察のセッションに移り、「熊谷市の課題解決」と「スマートシティの実例」を掛け合わせながら、どのような未来像が描けるかを検討しました。参加学生にとっては、社会課題をデジタル技術と結びつけて考えるプロセス自体が新しい挑戦であり、試行錯誤しながら議論を進める時間となりました。既存事例との違いや独自性を模索する過程は、今後のワークショップに向けた重要な学びのステップとなっています。



後半は、マインクラフトの操作体験を実施しました。基本的な操作レクチャーを受けた後、サンプルとして簡易的なモビリティを制作し、仮想空間上でアイデアを形にするプロセスを体験しました。本回ではアイデアを完全に実装する段階には至りませんでした。運営事務局より、次回に向けて個別の伴走支援を行い、アイデアの具体化を進めていく方針が共有され、第一回は終了しました。

■ アイデアの種を、未来の街づくりへ

今回のワークショップで生まれた数々のアイデアは、まさに「未来の街」を創るための種です。運営事務局では、これらの自由な発想をいかに実際の課題解決への糸口へと繋げていくか、今後とも学生たちと密に伴走しながら支援を続けてまいります。

メディアの皆様にも引き続き注目していただけるような、創造性とワクワクにあふれる展開を目指してまいります。

引き続き、本プロジェクトをあたたく見守っていただけますと幸いです。